

施策番号	2201		
施策名	山紫水明の自然景観の保全		
概要	京都の優れた自然景観を保全するため、風致地区等の制度の活用や、「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく、市民や事業者との協働による森林景観づくりを推進する。		
担当局・部室	都市計画局・都市景観部	共管局・部室	産業観光局・農林振興室
上位政策	22 景観		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市景観計画 京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく許可・協議件数（件）	c	d	2	0	5	0.0%	e	1.00
2	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく森林整備面積（本市による取組）（ha）	a	a	4.50	4.50	4.07	110.6%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					c	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度						令和 2年度 ※	
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない		有効回答 者数
1	三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	a	a	306	306	64	10	12	698	-
				43. 8%	43. 8%	9. 2%	1. 4%	1. 7%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	「四季を楽しめるまち」を実現するためには、森林景観づくりの取組が推進された結果、三山全体の「山並み」や「自然風景」がどのように変化し、評価されているのかを知ることが欠かせないため、市民の実感に重み付けを行った。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく許可・協議件数が0件であったため、e評価となった。

市民生活実感調査総合評価

☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都の三山は、樹木の大量枯死や、鹿による食害など、継続的に対応すべき課題があり、「三山森林景観保全・再生ガイドライン」の内容に沿った、許可・協議件数の増加が求められる。今後も、同ガイドラインを活用するとともに、美しい森林景観、豊かな自然環境を活用し、森づくりアドバイザーや森づくり実践講座などを開催し、広く市民やNPO・事業者等との協働による、三山の森林景観の保全・再生に取り組んでいく。

・小倉山歴史的風土特別保存地区内の本市買入地において、平成24年度から11箇年の期間をかけて小倉山にふさわしい森林景観の再生や良好な森林環境の維持に向けた取組を進める。

施策名	2201	山紫水明の自然景観の保全				
指標名	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく許可・協議件数（件）					
担当課	風致保全課		連絡先	2 2 2－3 4 7 5		
1 指標の説明						
市民やNPO、事業者等が、三山の森林景観を保全・再生する際に、条例等に基づき申請がされたものうち、三山森林景観保全・再生ガイドラインの内容に沿うものとして許可又は協議された件数						
2 指標の意味						
三山の森林景観づくりを進めていくための指針となる「三山森林景観保全・再生ガイドライン」の浸透度を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	2	0	2件減	5	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値	0.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	50件	令和2年度	50.0%	国有林や民有林等において三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく現状変更許可申請及び協議の年間目標件数を5件とし、延べ50件を目標値とした。	
5 評価基準						
各年度の目標値に対する達成度が、 a：100%以上（5件以上） b：80%（4件） c：60%（3件） d：40%（2件） e：20%以下（1件以下）						
6 基準説明						
目標件数を基準に、件数毎に5段階評価とした。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
c	d	e				

指標名	三山森林景観保全・再生ガイドラインに基づく森林整備面積（本市による取組）（ha）					
担当課	風致保全課		連絡先	2 2 2－3 4 7 5		
1 指標の説明						
民有林（本市所有林を含む。）における森林景観を保全・再生するために整備した面積						
2 指標の意味						
森林の景観を保全する要素の一つとなっている民有林（本市所有林を含む。）の本市による整備面積を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	4.50	4.50	増減なし	4.07	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値	110.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	50ha	令和2年度	92.7%	「四季・彩りの森復活プロジェクト」に掲げる目標値35ha及び、本市が買い入れた山林の一部となる15haを加えた数値とする。	
5 評価基準						
各年度の目標値に対する達成度が、 a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満						
6 基準説明						
民有林の整備は、所有者の金銭的な負担の発生や民有地同士の境界等の個別の事情によるところが大きいことを踏まえ、単年度目標値に対する達成度が80%以上の場合を最高のa評価とし、以下20%刻みで設定した。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
a	a	a				